



# アトリエぱおこどもクラス通信

2月号

2020年2月1日配布

## 2020年テーマは「Only One Earth」

アトリエぱおの2020年の年間テーマは「Only One Earth」です。

これは「かけがえのない地球」という意味です。

わたしたちの住むこの星「地球」はひとつしかありません。だからこそ、自分たちがずっと快適に住んでいられるように大切にしなければいけません。

そして、それは自分たちだけではなく、日本中のひとたちも、世界中のひとたちも、また、今生きているひとたちだけではなく、その子どもや孫などわたしたちの子孫たちもです。

また、人間だけでなく、動物も魚も鳥も虫も植物にとっても地球はひとつしかありません。

だからこそ、今生きているものと、これから生まれてくるものすべてが快適に生きていけるようにしなければいけません。

しかし地球の環境を一番汚したり壊したりしているのは人間です。ですから、人間が一番がんばらなくてはいけないのです。

今年2020年は日本でオリンピックが開催される年であり、世界中の人と注目が集まる年です。世界中のひとたちとも協力して地球を大切にしていきたいところです。そのためには、異なる文化や考え方、習慣などを学ぶことも必要です。そこで、国際社会共通の“2030年までに達成すべき17の目標”「SDGs」へも、できるところから取り組んでいきたいと考えています。具体的には

4. 質の高い教育をみんなに
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう

などがアトリエぱおとして関わるができる目標だと思います。これらをぱおでの制作の中に盛り込み、SDGsの達成に積極的に関わってほしいと願います。

また、平和75周年の今年は世界の平和を守り続けるために身の周りから平和希求を発信していきます。

## 2月のプログラム

3学期は、2020年のテーマ「Only One Earth(オンリーワンアース)」に沿って、キッズクラスでは、

ちょうの羽根の形・模様・色をデザインして、「オリジナルちょうちょ」を紙で作ります。

「ねんど化石」は、軽量粘土のかたまりにいろんな形のプラスチック廃材をスタンプして化石のようなオブジェを作ります。こちらはモチーフ提供をお願いしております。普段当たり前のように使っているプラスチックの中から、面白い廃材を探してみてくださいね。



色紙をちぎって貼る「ちぎり絵」では、絶滅危惧動物を作ります。この機会にどんな動物がいるか調べてみておくといいですね。

3月の雛祭りに向けて、ねんどと和紙で「アニマルひな人形」を作ります。お雛様を飾る時期は、

立春（節分の翌日、2月4日ごろ）から2月中旬にかけてがよいと言われています。

桃の節句は春の節句という事でもあるので、ひな人形を飾って春の訪れを感じてみましょう。



ジュニア実習の「モザイク画」はジュニアクラス限定のプログラムです。

タイルを割って貼る技法で絶滅危惧動物のモザイク画を作ります。

ジュニアクラスならではの高度なプログラムです。



プチクラスの「モールペン」は、カラフルなモールでペンにまきつくモンスターをつくります。どんなモンスターができるか楽しみですね！

ご連絡・お問合せは・・・

TEL 082-271-0870  
FAX 082-271-0877

MAIL pao@a-pao.com  
WEB a-pao.com

アトリエ ぱお  
造形教育研究所  
広島市西区己斐本町 1-7-10-2F

## アカルイカティ

12月21日 広島市現代美術館からの依頼で、特別展「アカルイカティ」展のオープニングセレモニーにて、アトリエはおこどもクラス会員が作品発表をしました。  
「アカルイカティ」という言葉からイメージしたものを絵や文字にして表現する。という展示作家と同じ条件でクラス内にて制作し、約200点の作品の中から選ばれた6人が作品を発表しました。

館からののはたらきかけが急で制作期間が短かったため、予定が組めなかったり短時間しか取れないクラスもありましたが、集まった作品は様々な視点やアプローチの作品も多く、選定作業はとても難航した。今後も美術館との連携企画なども積極的にやっていきたいですね。

「アカルイカティ」展  
広島市現代美術館  
2019年12月21日(土)  
～2020年3月1日(日)  
特設サイトはこちらから→



▲セレモニーでの作品発表の様子

## モチーフ提供のお願い

こどもクラスで2～3月に実施予定の「スタンプ化石」では、身近にあるプラスチック廃材のパーツを軽量粘土のかたまりにスタンプして化石のようなオブジェを作るレッスンに取り組みます。  
プラスチック廃材を粘土にスタンプし、何百年か後の発掘物と設定したプラスチック模様の残った化石のような作品を作ります。どんな模様が不思議で面白いのか、考えてみましょう。

身近にあるプラスチックの廃材から、面白い模様・形を見つけてレッスンで持参してください。修正テープなど、製品を分解してみると面白いパーツもできますよ。この機会にプロダクト製品の仕組みなどにも興味を抱けたら良いですね！

各レッスン日までに、**プラスチック廃材(5cm以内程度の大きさのもの)**をご用意いただき、当日ご持参ください。汚れているものは必ず綺麗に洗ってきてください。ご協力よろしくお願いいたします。

## やすこ先生の ほんと 一息コラム

2月4日立春は春の始まりの日。  
こども達も創造の芽を力強く出しています。  
さらにぐんぐんと伸ばして行ってほしいですね。  
いまのクラスからのステップアップをお考えでしたら、  
ぜひ講師にご相談下さいね。  
私たちも気になっていることなどをお伺いしたり、  
これまでの成長の喜びも分かち合いたいと願っています。

kids・Jr クラス

# 福笑い

2020年1月実施

## ■ プログラム内容

日本の伝統的なお正月遊びの「福笑い」を作ります。

## ■ 取組み・素材・技法の特徴

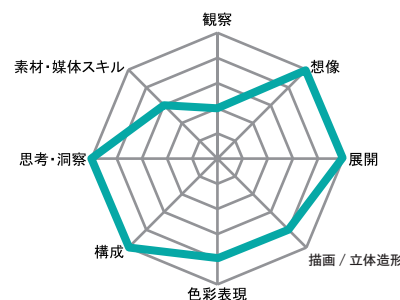
顔はパーツの配置で印象が大きく変わります。カメラやスマホの顔認証も両目と口が作る三角形が重要です。

パーツから作ることで目鼻・口の形を意識し、完成作品を遊びながらパーツの配置についても考えることができます。民族によって異なる

## ■ 得られる教育効果

遊びながら顔のパーツの配置を考えることで、空間認識能力を育む。

肌や目の色、形を観察して制作し、民族についてや生物学的な思考・洞察力を養う。



## ■ 担当講師のコメント

目隠しをして並べると変な顔になっておもしろい！  
楽しく遊びながら顔について学びました。  
眉毛を下げると悲しい顔になったり、眉毛が口に、鼻がひげに？！パーツを並び替えて違った顔にして楽しむ子もいましたよ。